



宇治社会福祉協議会＆宇治ボランティア活動センター
加入団体紹介・イベント案内等、各種情報掲載ページです。

ボラ活・活動紹介コーナー vol_3



今回は、「宇治手話の会茶だんご」の紹介です。茶だんごは1974年から活動していて、宇治ボランティア活動センター登録グループの中で1番長い歴史があります。先日、縁綬褒章を受賞されたサークルです。私は今回、11月22日(火)宇治市総合福祉会館で行われた活動に参加しました。この日は円になって、手話の単語の成り立ちや情報誌の文章などを利用して実際に手話を使って覚えたり、来年京都で行われる「第60回全国ろうあ者大会」で発表する歌に合わせ、その歌詞を手話にした映像を見ながら皆で練習したりと、盛りだくさんの2時間でした。手話に対し、「難しいかも…」「私にできるのかな…」などと考えがちですが、実際に体験すると手話がもっと身近に感じるのではないか、と思います。活動日には皆さんがぼちぼちと集まってくる、柔らかい雰囲気のサークルです。興味のある方は、一度参加してみてはどうでしょうか？

取材・文責 古谷 美貴



「障害者おでかけサークル。楽がき」参加者募集

募集：知的障害のある方若干名

活動：月2回。第3水曜日と第4日曜日

場所：第3水曜日→福祉会館 or カラオケ等現地

第4日曜日→大阪、奈良等へのおでかけ

お問い合わせ：電話 090-238904401(担当 鈴木)

メール masa-i5.3476@docomo.ne.jp

料理を作ったり、
カラオケ、ボーリングなど
「楽」しく気「楽」にをモットー
に活動しています。
まずは、お問い合わせください！

ボランティアさん 大募集！！

『コンタクトパーソン「結」です！』

参加利用できるかたの条件

★宇治市在住の方

★精神、知的に障害のある方

★地域や人とのかかわりが出来にくい方



●散歩、メールでの交流
●喫茶店でのおしゃべり
などの交流が出来ます

＜問い合わせ＞
代表 石橋忠昭

まずはお電話下さい

0774-44-0925



『うさぎはらっぱであそぼうよ！』

日 時 12月11日(日) 10:00~16:00

場 所 菅道公園

問い合わせ 宇治に冒険遊び場つくろう会

代表・島田礼子 tel:080-3763-8460

e-mail:uji-asobiba@gmail.com

＊参加費無料・事前申し込み不要

・年齢制限なし

広い公園に木材や段ボール、工具や
昔遊びの道具など遊びを引き出す素材
と道具を準備して待っています。



宇治ボランティア活動センター情報紙

パートナー

2011-11

発行 宇治ボランティア活動センター
〒611-0021 宇治市宇治琵琶45 宇治市社会福祉協議会内
TEL 0774-22-5650 Fax 0774-22-5677
発行者：曾谷 武
編集者：清水恵美子・西川重雄
山本理恵子
ホームページ（社協） <http://iji-shakyo.net>
eメール（社協） mail@iji-shakyo.net
ホームページ（eタウンじ） <http://www.e-townaji.jp/>

福祉まつり'23 報告

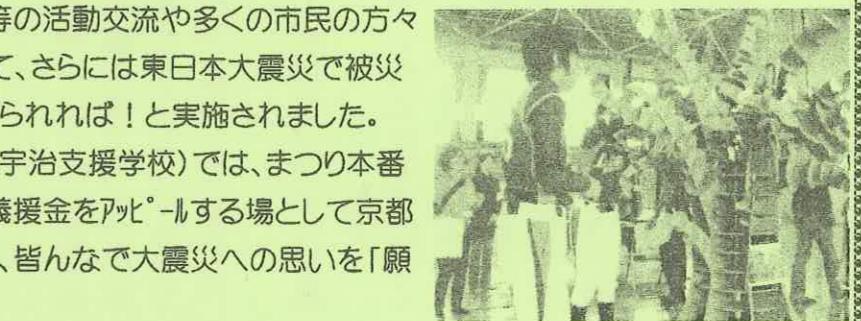
2011宇治福祉まつりで培った『絆』を 地域福祉の活性化に生かそう！

今年の福祉まつりは、各種福祉団体等の活動交流や多くの市民の方々に福祉活動を知っていただく場として、さらには東日本大震災で被災された方々へのみんなの思いを繋げられれば！と実施されました。

10月29日のイベント（於：府立宇治支援学校）では、まつり本番へのPRと大震災の復旧への願いや義援金をアップする場として京都アストリーツ（女子プロ野球チーム）も招き、みんなで大震災への思いを「願いの木の短冊」に寄せ合いました。

11月6日の「まつり本番」は小雨混じりでしたが、福祉会館一帯に約4,500人が集い、ステージ発表や福祉の店、子ども広場、パレード展示、相談コーナー等々多種多彩なイベントを通じ、提供（アップ）側も参加者も大いに賑わい、福祉をテーマとする相互交流が促進され、新たな「絆」を感じ合うことができました。

ボランティア活動センターは、まつり実行委員会へ委員派遣やステージ発表・パレード展示・福祉の店（たこ焼き店）などへの積極的参画で、まつりの盛況を期して取り組みました。



これらイベントを通じて得られた市民相互の「絆」は、宇治での「地域福祉の活性化」に勢いよく引き継がれることでしょう！一人独りの小さな力も、寄せ合えば大きなパワーとなって地域で暮らすみんなの「幸せ社会」に繋がることを信じて！

『個人・団体登録者意見交換会』のお知らせ

◆日 時 12月3日(土)

10:00~12:00

◆場 所 宇治市総合福祉会館3階

大広間

◆費 用 無料

◆内 容

◆事業の紹介と協力のお願い

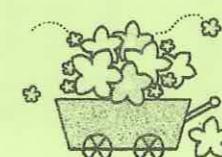
第3回ボランティアフェスティバル<H24.2.19予定>

第14回バリアフリー上映会<H24.3.24予定>

◆ボランティア活動センターへのご意見や要望・提

案などを聞きします

ボランティア活動センターは皆さんのご協力で活動が促進されます。多数のご参加お待ちしています



第5回全国校区・小地域福祉活動

サミット in 宇治 の報告！

先日11月26日、宇治市文化センターをメイン会場に、全国から2千名を超える仲間が集い、「つながり上手で地域をつくる！」を主テーマに10の分科会もそれぞれ「縁」をとりあげ各地の実践報告を交流しました。

まとめの全体ディスカッションでは、宇治で活動している5名がパネラーとなって、全国の仲間へ力強く発信を行いました。

来年の第6回サミットは、兵庫・神戸で開催される予定です。



ボランティア作文コンクール 受賞者表彰

宇治ボランティア活動センターが今夏に募集しました「小学生ボランティア作文コンクール」に、市内十四校から百三作品の応募がありました。

身近な出来事から「ボランティア」について考えて頂く機会となればと取り組みました。子どもたちは、日常色んな角度から「直感」することに驚かせられました。それぞれ力作揃いでしたが、とりわけ優秀作品を以下紹介します。



【ボランティアとは何か】

宇治小学校 高月 愛璃

わたしは、ボランティアとは、人が人を助けることだと思います。

例えば、先日、東日本大震災がありました。その後日に、たくさん的人がボランティアとして、床下にたまたた泥を出したりなど、決して楽とはいえない作業を文句一つ言わず、一生けん命にボランティア活動をされていました。

わたしは、その姿を見て、一つ不思議に思ったことがあります。それは、なぜ、人を助けたいという理由だけで、東北にボランティアに行けるのかということです。多分その人たちは、人を助けるという理由以外にも、もっと、ちがう理由が人それにあります。例えば、ボランティア活動をして「何か他に、得るものがあると思うから」とか、「早く復興してほしいから」や、「募金じゃなく、直接役に立ちたかったから」などです。

また、ボランティア活動をするのは、とても大変なことだと思います。なぜかというと、交通費や食事代などを自分で払うからです。それでもボランティア活動に参加する人がたくさんいて、わたしが、そのような素できな心をもった人がたくさんいて、とてもうれしいです。

他にも身近に、いろいろなボランティアがあります。例えば、登下校の時に、わたしたちを見守ってくださるボランティアや、外国の子どもたちを助けるためのお金を集めるボランティアなどあります。わたしは、そのようなボランティア活動がふえることによって人と人の絆が深まっていくと思います。

わたしもこれから、そのようなボランティア活動に、積きよく的協力していくみたいです。

『はしぶくろを作った思い』

横島小学校 三年 桑山 慧悟



ぼくは、ママと弟の夫婦(ぼあちゃん)がはたらいでいるグループホームのおじいちゃんやおばあちゃんたちに「はんの時につかうはしぶくろを15まい作っています。どんなはしぶくろか」というと、5月は「いのぼりのはしぶくろを作っています。どんなはしぶくろを半分にあります。はんたいも同じようにします。まづみどりの紙を半分にあります。はんたいも同じようにします。次に横をあります。そして目を作ります。作り方は白のシールをはつてその上にまずみどりの白が見える様に名前ペンで黒目を書きます。さい後にウロコはシールを半分にしてはつたらかんせいです。7月はスイカにしました。作り方はまず、みどりの画用紙でこいのぼりと同じ様にあります。次に赤の画用紙でスイカの赤いぶ分を切りとつてタネを書きます。タネをならべて「ひんきてね」と書きました。メッセージも書きました。じつ書きました。「あついけどがんばってね。」

ひまわりと葉っぱのも作りました。図かんや本やファイルを見て調べて虫も書きました。

5月にわたした時よりこんでもつて帰ってくれたからうれしくてなきそでした。また、もつて帰つてほしいです。秋は本物のもみじといちょうをつけようと思います。本物のほうが秋をいつぱいかんじるからです。12月には、ほしのついたクリスマスツリーとサンタクロースのはしぶくろを作ります。クリスマスが楽しくなるようにねがつて作ります。

これからもよろこんでもらえるようにいっぱい作ります。だからおじいちゃんとおばあちゃんもげんきでいてください！ ぼくもがんばるよ。

『お母さんとボランティア』

神明小学校 三年一組 今づ 光き



ぼくのお母さんは、宇治市緑化ボランティアをしています。月に2~4回、植物公園や黄ばく公園、西宇治公園の花のお世話をしています。ぼくがようち園の時からやっているのでもう3年になります。

「どうしてボランティアをしてるの?」と聞いてみたら「自分で樂のしんでできるボランティアが緑化ボランティアだったんだよ。花をうえることで公園の利用者がよろこんでもらえるとうれしいんだよ」といました。

ぼくも、宇治市植物公園でお母さんとおでつだいをしたことがあります。この時は、コスモスのたねを二千つぶ、ボランティアの人たちとうえました。さいしょはかんたんだと思っていました。花をうえることで公園の利用者がよろこんでもらえるとうれしいんだよ」といました。

でも秋になり、たくさんさいたコスモスを見て、うれしかったです。その花を見ていた人が「きれいだね」と言つてているのを聞いた。ぼくは、ほめられた気分になりました。

その時、お母さんがボランティアをつづける気持ちがわかりました。

ぼくも、できることがあればやりたいです。

宇治ボランティア活動センターでは、世代を超えて、また世代を繋ぐ活動が出来ればと創意工夫して取り組んでいますが、この度の作文コンクールは、今まで以上の小学校の先生方や保護者の皆さまのご理解も得て、多くの出品を頂きました。

東日本でのあの大震災での思いを風化させることなく、「共助・協働」の精神をこれからも高め合いたいのです！